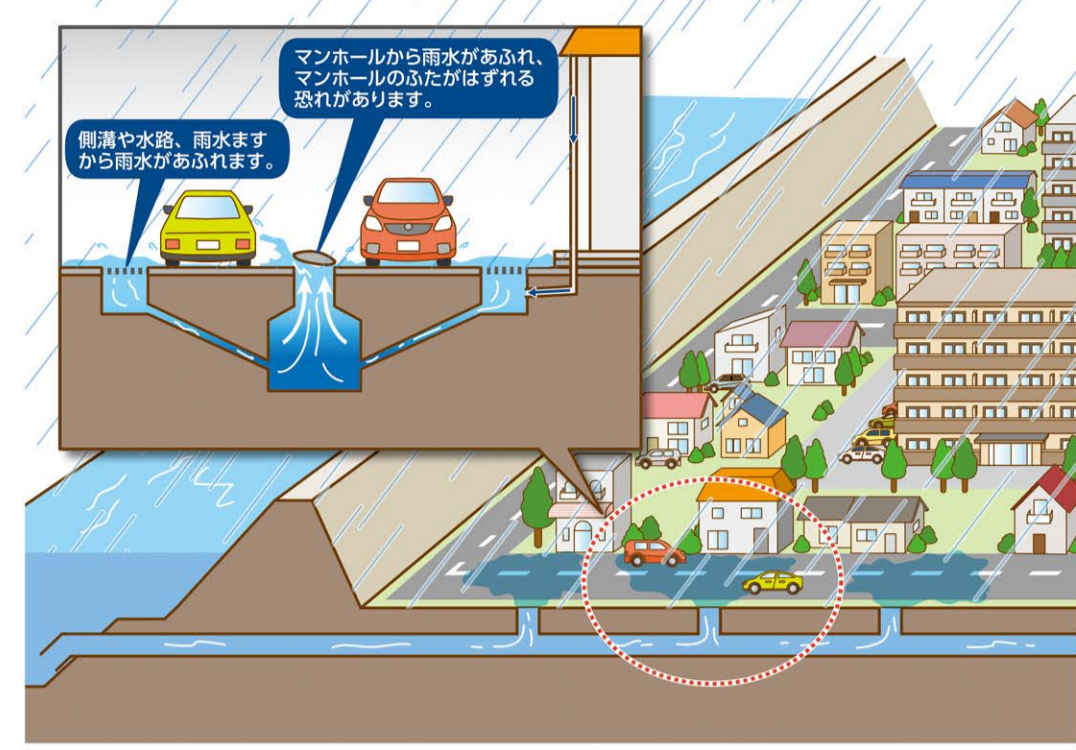


# 港北区内水ハザードマップ

## 内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。  
※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜環境部が作成したものです。  
雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

### 内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や浸水をシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された瞬間降雨量153mmとしています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していませんので、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。  
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

# 港北区洪水ハザードマップ

## 洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

この洪水ハザードマップは、鶴見川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。  
※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



### 洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの洪水浸水想定区域<sup>※1</sup>の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(2日間で792mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が決壊した場合をシミュレーションにより算出したものです。  
※なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります、実際の浸水深と異なる場合があります。

※1 国土交通省関東地方整備局横浜川河事務所ホームページ  
(https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\_index070.html)  
※2 横浜地方気象台ウェブサイト  
(https://www.jma-net.go.jp/yokohama/)

**想定条件**  
鶴見川水系：2日間で792mmの降雨

### 港北区役所が開設する避難場所について

◇開設された避難場所は、必ず、市-区のウェブサイトやテレビ(データ放送)等で確認してください。  
◇【警戒レベル5】緊急安全確保の対象区域となった場合や自宅周辺が浸水している場合は、避難場所へ移動せず、自宅の上層や近隣の高いところに直ちに避難してください。

### 港北区役所が開設する避難場所について

◇避難場所は、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等に居住する方に避難していただくため、開設します。洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域以外で堅牢な建物に居住する方は、ご自宅に留まり、最新の情報を確認してください。  
◇【警戒レベル6】緊急安全確保の対象区域となった場合や自宅周辺が浸水している場合は、避難場所へ移動せず、自宅の上層や近隣の高いところに直ちに避難してください。

### 避難場所(洪水・高潮)一覧

指定緊急避難場所	避難場所
日吉小学校、港北小学校、菊名小学校、新田小学校、高田中学校、篠原小学校、下田小学校、篠原西小学校、高田東小学校、小机小学校、城郷中学校、城郷小学校、矢上小学校、鶴林小学校、師岡小学校、大豆戸小学校	
自主避難場所	避難場所
篠原中学校、港北公会堂、菊名地区センター、日吉地区センター、新田地区センター、網島地区センター、篠原地区センター、大倉山記念館、港北区市民文化センター	

また、避難対象区域外の方が災害に備えて自主的に避難する場所として、指定緊急避難場所に加え、次の施設を自主避難場所として開設する場合があります。

一部の指定緊急避難場所、自主避難場所については、降雨量によっては浸水することが想定されます。避難にあたっては、避難場所の開設状況を確認し、必ず洪水浸水想定区域外の避難場所を選択するようにしてください。

▼2日間で400mm以上の降雨がある場合は、港北区区内では広範囲での浸水が予想されており、避難場所の数が比例的に不足することが想定されますので、安全な場所にある親戚、知人の家、宿泊施設等への避難を検討してください。

**横浜市水防災情報**  
横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。  
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。



### 凡例 (Explanatory Notes)

○浸水深のめやす

2.0m以上	1階以上浸水
1.0-2.0m	1階上浸水
50cm-1.0m	1階下浸水
20-50cm	床下浸水
2cm未満	浸水想定

○避難する際に注意する箇所

河川	河川	河川	河川
主要道路	主要道路	主要道路	主要道路
水防設備	水防設備	水防設備	水防設備
河川監視カメラ	河川監視カメラ	河川監視カメラ	河川監視カメラ
下水道事業計画区域	下水道事業計画区域	下水道事業計画区域	下水道事業計画区域

○浸水深のめやす

10.0-20.0m未満	10.0-20.0m未満
5.0-10.0m未満	5.0-10.0m未満
3.0-5.0m未満	2階部分まで浸水する深さ
0.5-3.0m未満	1階部分まで浸水する深さ
0.0-0.5m未満	おたの深さまで浸水する深さ

○避難する際に注意する箇所

避難場所等指定区域	河川等により浸水が頻発・流出するおそれがある区域の浸水想定区域(浸水想定区域図)に示す区域
アンダーパス	水防設備が設置されていないアンダーパス
土砂災害警戒区域	土砂災害警戒区域(土砂災害警戒区域指定区域)
土砂災害警戒特別区域	土砂災害警戒特別区域(土砂災害警戒特別区域指定区域)
鶴見川多目的遊歩道	鶴見川多目的遊歩道(鶴見川多目的遊歩道指定区域)

**港北区区内の指定緊急避難場所には、このような看板が設置されています。**  
開設される避難場所は、予想される降雨量によって異なりますので、必ず複数の避難場所を日頃から確認しておきましょう。

**小学校**  
指定緊急避難場所  
洪水 Flood from rivers  
開設中 Open